



子どもたち一人一人が笑顔ですごす学校をめざして



読書の秋です。本を読みましょう

本校の子ども達は、本をよく読むというよい傾向があります。近くに「折尾母子の図書館」があったり、家庭や学校で声掛けをしたりしていることもその理由の一つでしょう。

本年度は、図書館司書の日下(くさか)先生が週に1度、来てくださり、学校図書室の整備や環境を整えてくださっています。また保護者の方にもお声掛けをし、6名の方がブックヘルパーとして、図書館の整理や貸し出しのお手伝いをしてくださっています。そのおかげで、昼休みに常時、図書室を開館し、子ども達が自由に読書をしたり、本の貸し借りをしたりすることができるようになっています。図書室もきれいで温かい手作りの掲示物などを工夫していただき、とてもよい環境になっています。先日も他校のブックヘルパーさん方が見学に来られました。大変参考になったと喜ばれていました。また、以前から2週に1回、つくしんぼの会の皆様による昼休みの読み聞かせや本校PTAの「お話パレット」の皆様による朝自習時の学級での読み聞かせも子ども達に読書の楽しさを教えてくださっています。大変ありがたいことだと感謝しています。

読書のよいところは、

- ① 心を落ち着かせ、集中力を養う効果がある。
- ② 活字に慣れる。(TVやゲームばかりでは文字を目で追う力が弱くなるそうです)
- ③ 新しい知識を得たり、知的好奇心を刺激したりする。
- ④ 想像力や思考力を伸ばす。

などです。子どものうちに読書のよい習慣を身に付けさせたいですね。



昼休みの図書室(図書館司書・ブックヘルパーさん)



絵本の読み聞かせ(つくしんぼの会)



絵本の読み聞かせ(おはなしパレット)

ちよつとも書話1

雑草のこと

運動場の周りに雑草が茂ってそのままにしているところがありました。それにはこんなわけがあるのです……。低学年の子ども達は虫が大好きです。休み時間になるたびに虫かごをもって運動場に出てきます。そして、一生懸命虫取りに熱中しています。子ども達は虫とかかわりながらいろいろなことを学んでいるでしょう。伸びた雑草をそのままにして刈らずにしているのは、校務員の山口先生の子供達への思いやりなのです。心が温かくなるようなよい話だと思います。学習の内容にも気を配りながら、子ども達の虫取りが一段落した頃、きれいに草を刈っていただきました。



ちよつとも書話2

音楽鑑賞会のこと

本校では、毎年、劇や音楽などの芸術鑑賞会を行っています。

今年は10月21日(火)に消防夢コンサートを行いました。当日は消防音楽隊とカラーガード隊の皆様が本校を訪れ、体育館で素敵な管弦楽の演奏や旗を使った演技を見せてくださいました。子ども達は生で聞く演奏の迫力に息をのんだり、カラーガード隊の素敵な演技に見入っていました。子ども達に、様々な音楽や表現活動に触れさせ、それらの素晴らしさや楽しさを身をもって経験することは大変意味がある事だと思います。また、あのお兄さんのように楽器が弾けたらいいだろうな、とか、カラーガード隊のお姉さんの演技はとてもすてきだったな、というように「あこがれ」の気持ちを持つこともとてもよい事だと思います。

子ども達は、「あんなふうになりたいな」という夢を持つとき、人生の楽しさや努力することの大切さに目が向いてくるのではないのでしょうか。(消防夢コンサートを見たことが、音楽会の表現活動につながっていったところもあります。)

